Install Log/Debian_on_VMware

2025年 6月 1日 目次

- Install Log/Debian_on_VMware0
 - ISOイメージから起動0 • Choose The Language0 ○ キーボードの設定0 ○ディスクドライブの選択・パーティションの作成0 ○ファイルシステムの設定0 ○インストール元の選択0 ◦ モジュールの設定0 ○ネットワークの自動設定0 ○基本システムのインストール0 ○システムの起動設定0 システム設定0 ○パッケージのインストール0 ■ パッケージリストの更新0 ■ パッケージのインストール0 ○インストールしたほうがよいもの0 ■ localeの設定(3.0 r0の場合)0 sudo0
 - apm0
 - ssh0

参考にしているのは、次のサイト

- http://espion.s7.xrea.com/debian/install/cd.html
- http://yg.dip.jp/~taka/orca2/vmdebian.html
- <u>http://www.orca.med.or.jp/receipt/tec/woody/woody_install_jma.html</u>
- http://www.ep.sci.hokudai.ac.jp/~epwww/dvlop/os-install.html
- http://www.deer-n-horse.jp/linux/dialy/debian_woody_install.html
- http://hp.vector.co.jp/authors/VA023018/install.htm
- <u>http://www.sky.sh/orca/junbi2_w.htm</u>
- http://www.tetsuo.morikawa.name/m/?Debian
- http://www.navic.co.jp/services/debian/index_j.html
- http://www.nofuture.tv/linux/debian/install/
- http://www.fasp.tv/debian/debian_easy_install/

ISOイメージから起動

1枚目のISOイメージから起動(5枚目を使えば、次の操作は必要なし)。 ファイルシステムにExt3を使うためにver 2.4.Xのカーネルをインストールしたいので、プロンプ トが表示されたら、F3キーを押して次のように入力

boot: bf24

Choose The Language

言語の選択。もちろん「ja」。

キーボードの設定

「qwerty/jp106」を選択。

ディスクドライブの選択・パーティションの作成

ディスクドライブはデフォルト (/dev/sda)のまま。cfdiskを起動する前に、次のようなメッセージが出るので、yとEnterを入力。

No partition table or unknown signature on partition table Do you wish to start with a zero table [y/N]?

cfdiskが起動したら、次のようにパーティションを作成。(VMwareの仮想マシンの標準は4GB)

- ・ sda2 Primary Linux 4038.62MB (Bootaleにしておく)
- sda5 Logical Linux swap 254.99MB

ファイルシステムの設定

次のように設定

- sda2:ext3(/)
- sda5:swap,

インストール元の選択

CD-ROMを検出するので、それを利用。

モジュールの設定

必要なカーネルモジュールを選択する。。。のだが、VMwareだし、そのままEnterキーを押す。

ネットワークの自動設定

VMwareのVirtual NetworkのNAT&DHCP環境を利用するので、自動設定を行なう。 自動設定しない場合は、必要なパラメータを設定する。

基本システムのインストール

CD-ROMから基本システムをインストール。

システムの起動設定

MBRにLILOをインストール。 ブートフロッピーは当然作成しないので、その次のステップの「システムのリブート」を選択。 再起動中にISOイメージをCD-ROMの設定から解除しておくこと。

システム設定

再起動後、システム設定が開始される。

- タイムゾーンは、「グリニッジ標準時にセットするか」聞いてくるので<No>を選択し、「Asia」「Tokyo」の順に選択。
- •パスワード設定は、MD5を使用、シャドウパスワードを使用。
- 一般ユーザの作成は、適当に作成しておく。通常はこのユーザでログインする。
- PCMCIAとPPPは使わない
- aptの設定は、他のCD-ROMと他のインストール元は追加しない<u>*1</u>、security.debian.orgからセキュリティアップデートする(もちろんホストマシンはネットにつないでおく)
- 最小限システムを作るには、「Run tasksel」と「Run dselect」は<No>。*2
- 必要最小限のソフト(コンパイラ含む)を入れておくには、「Run tasksel」を<Yes>(ただし何も選択しない)、「Run dselect」は<No>。*3
- Exim (MTU)の設定は、「5」の設定しないを選択。あとのソフトのインストールで警告 メッセージを表示したくないなら「4」のローカル配信のみを選択。

パッケージのインストール

システム設定が終わると、通常のログインプロンプトが表示される。rootでログインし、作業を行なう。

パッケージリストの更新

- taskselのメニュー更新のため、一度だけdselectを実行。

 [Access]を選択して、「apt」を設定(全部デフォルト)
 [Update]を選択
 - [Quit]を選択
- /etc/apt/sources.listを次のように編集*4

Debian Package

```
deb ftp://ftp.jp.debian.org/debian stable main contrib non-free
deb ftp://ftp.jp.debian.org/debian-non-US stable/non-US main contrib non-free
deb ftp://ftp.jp.debian.org/debian-jp stable-jp main contrib non-free
deb ftp://ftp.jp.debian.org/debian proposed-updates main contrib non-free
```

Debian Security Package
deb http://security.debian.org/ stable/updates main contrib non-free

- インストールもとの設定は、できれば<u>こちら</u>と<u>こちら</u>を参考にきちんとミラーを探すのがよい。
- •「apt-get update」「apt-get dist-upgrade」の順に実行

パッケージのインストール

• taskselを実行し、「X window system」「desktop environment」「Japanese environment」を選択し、[Finish]を選択。

インストールしたほうがよいもの

localeの設定 (3.0 r0の場合)

- dpkg-reconfigure -plow locales
 - ja_JP.EUC-JPとja_JP.UTF8-JPをインストール
 - ja_JP.EUC-JPをデフォルトのlocaleに設定

sudo

apm

ssh